

1. バイオリンを習おうと思ったきっかけは何でしたか？

保育園で仲間良かった。お友達からピアノを習うのを見て、こおり。

自分からバイオリンを習う、と弾けようになりたいと、列々の小学校へ通うことになり、これも音楽で繋がるから... と言っていました。

ベートーヴェンのソナタ「春」が好きで弾けようになりたい。とも言っていました。この「春」という曲やバイオリンという楽器に興味を持ち、これは「のびやかさ・ビレ」の峰さんの影響だと感じています。

2. バイオリンを習う前と習った後、お子様のどのようなところが変わりましたか？

いくつでもあれば教えてください。

質問の内容とはおぼろげに思い出しています...

「学校・野球・バイオリン」というのが、小・中学校9年間の生活の柱でした。学校や野球は集団生活(活動)であり、バイオリンは自分と向き合うものであり、個人的な活動であり、一人でレッスンに通うようになってからは親の目も届かなくなり、先ずと自分との関わりが世界になったので、貴重な時間となっていました。自立(自律)も促されたと思いますし、人格的な面でもバランスを保つことにも役

3. ポコアポコ バイオリン教室に通われて、一番よかったことは何でしょうか？

意地、張りや個性的な性格で、自分で納得できないと受け入れられないところから、先生の指導に従わない、機嫌が悪くなる、ということも最初の頃はよくありました。機嫌が悪くなる、ということも最初の頃はよくありました。

先生から「譲れないことは譲れない」という姿勢は見せてからも、言い方、伝え方を子どもに合わせて下さることで、受け入れられ、納得出来るようになり、と思っています。「その子の個性に合わせて尊重しつつ伸ばして下さる」ところが良かった

4. これからバイオリンを習う方へ一言お願いします。

- 自分もピアノをやっていたので、バイオリンのようにどこにでも持ちこたせてくれる、いつでもどこでも演奏できるというのは羨しいことだし、バイオリンの良いところだと感じています。
- 地道な努力が必要だと実感出来ると思います。逆にやるべきことをやらないと自分に返ってくるものもあります。